

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月21日

栃木県知事
福田 富一 様

提出者
住 所 栃木県芳賀郡芳賀町下高根沢4630番地
氏 名 本田技研工業株式会社 四輪開発センター
管理統括部 林 賢一郎
電話番号 028-677-3311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	本田技研工業株式会社
事業場の所在地	栃木県芳賀郡芳賀町下高根沢4630番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	71 学術・開発研究機関
②事業の規模	製品出荷無し
③従業員数	10000人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
	(管理体制図) 別紙2のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	別紙3のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	別紙3のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙3のとおり	t
(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙3のとおり	t
(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和4年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
		【目標】	
② 計画	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		

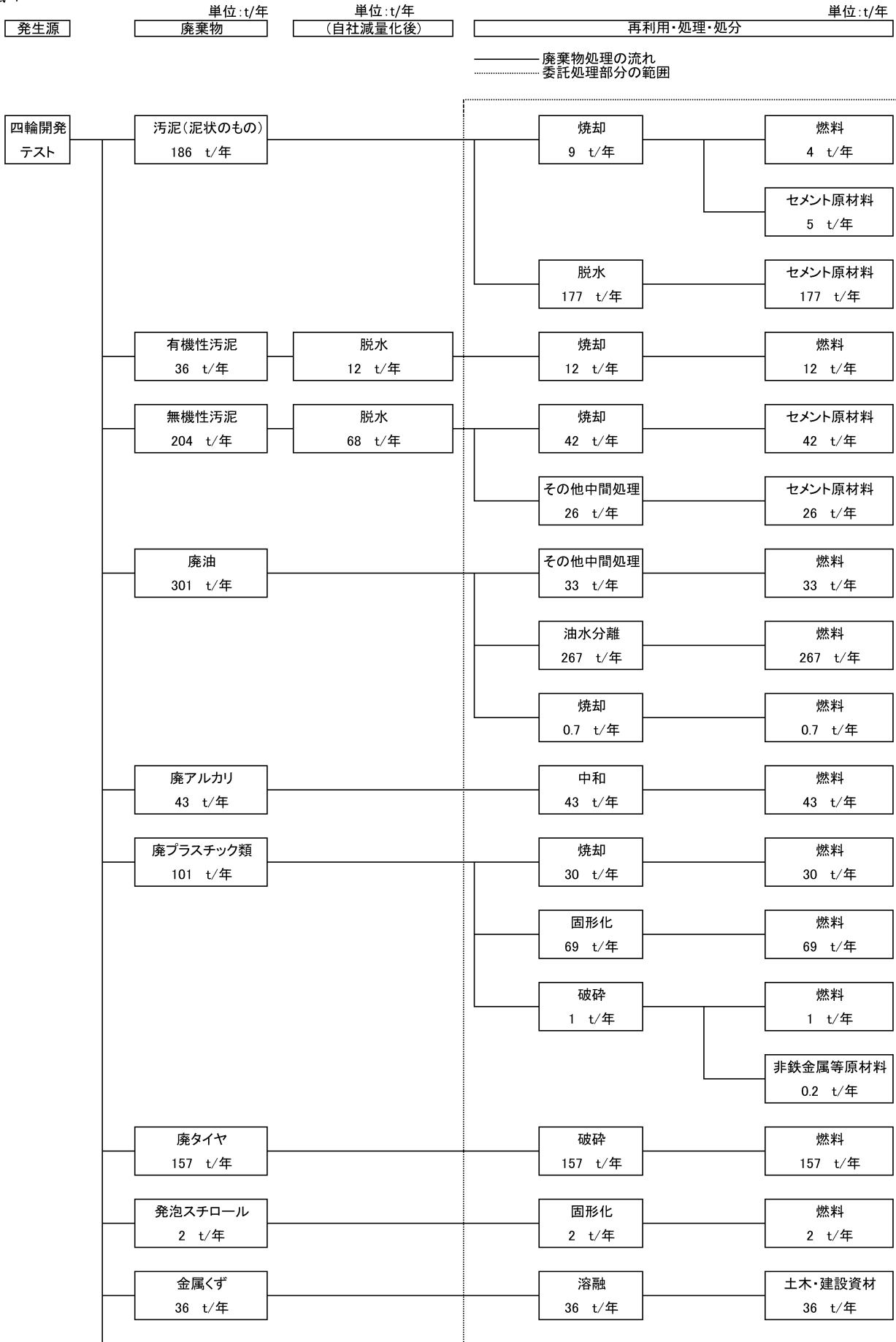
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

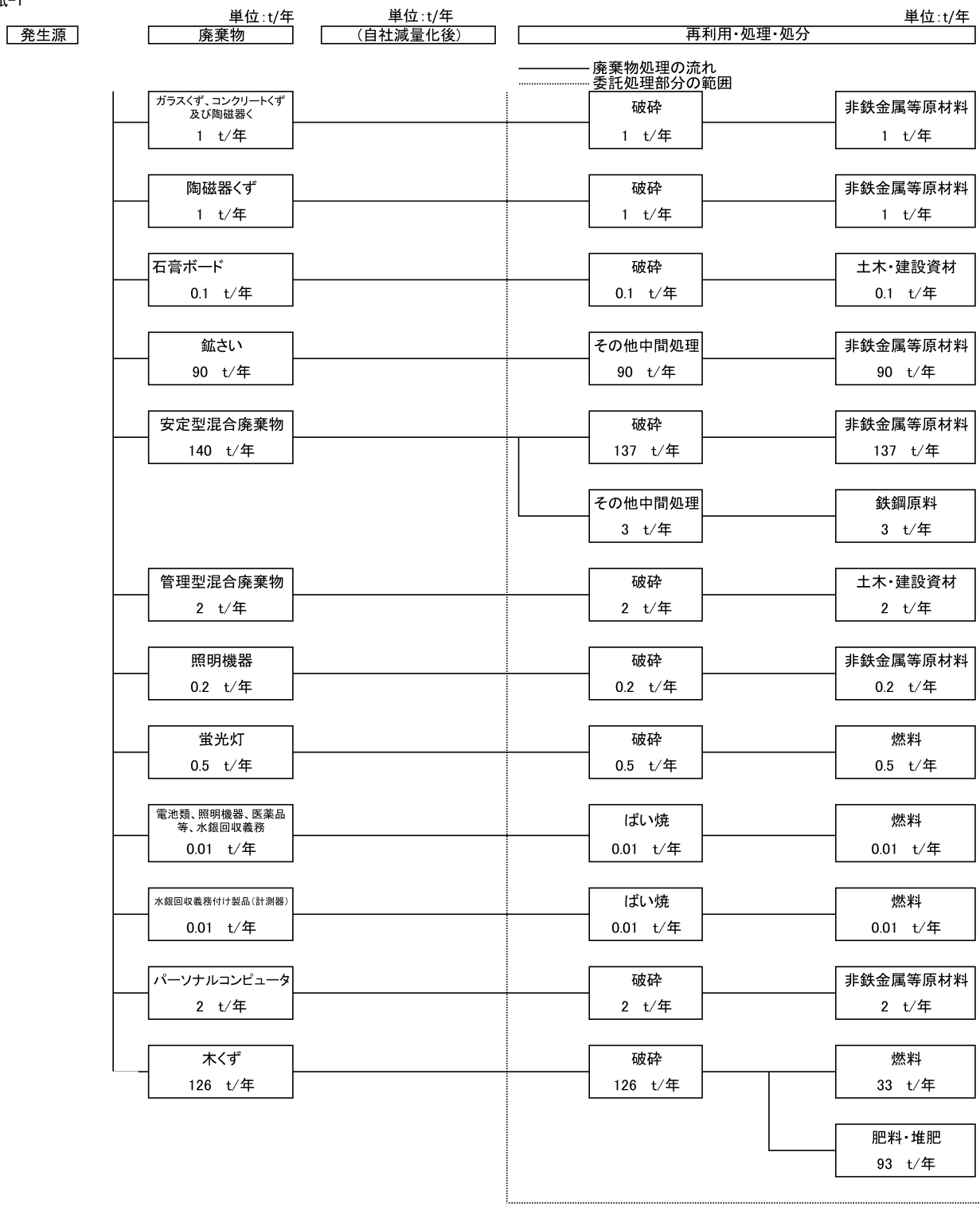
		【前年度（令和4年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3のとおり	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3のとおり	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙4のとおり			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



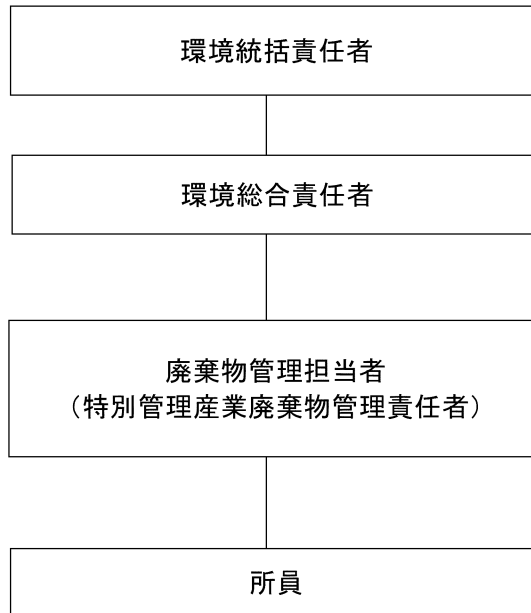


別紙 2

＜産業廃棄物/特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項＞

管理体制図

環境統括責任者		所 属：管理統括部 職・氏名：管理・調達部 部長
廃棄物担当		組 織 名：管理統括部 管理・調達部 設備管理課 組織人数：100人
役 割	環境総合責任者 (設備管理課 課長)	○廃棄物を含む環境実務執行責任者
	廃棄物管理担当者 (特別管理産業廃棄物管理責任者)	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の確認 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育・啓発 ○その他関係する事項



＜産業廃棄物＞

廃棄物の種類及び 実績、目標の別		1		2		3	
		汚泥(泥状のもの)		有機性汚泥		無機性汚泥	
		実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度
排出・処理の区分							
排出量	185.7	186	36.0	36	203.9	204	
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0	
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0	
自己中間処理減量化量	0	0	24.0	24	136.0	136	
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0	
全処理委託量	185.7	186	12.0	12	67.9	68	
優良認定処理業者への処理委託量	182.0	182	12.0	12	67.9	68	
再生利用業者への処理委託量	185.7	186	12.0	12	67.9	68	
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	
		4		5		6	
排出・処理の		廃油		廃アルカリ		廃プラスチック類	
		実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度
排出量	300.6	301	43.1	43	100.5	101	
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0	
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0	
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0	
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0	
全処理委託量	300.6	301	43.1	43	100.5	101	
優良認定処理業者への処理委託量	300.6	301	43.1	43	67.4	67	
再生利用業者への処理委託量	300.6	301	43.1	43	100.5	101	
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	

＜産業廃棄物＞

廃棄物の種類及び実績、目標の別 排出・処理の		7		8		9	
		廃タイヤ		発泡スチロール		木くず	
		実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度
排出量		156.7	157	1.8	2	125.8	126
自己再生利用量		0	0	0	0	0	0
自己熱回収量		0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量		0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量		0	0	0	0	0	0
全処理委託量		156.7	157	1.8	2	125.8	126
	優良認定処理業者への処理委託量	156.7	157	1.8	2	0	0
	再生利用業者への処理委託量	156.7	157	1.8	2	125.8	126
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
廃棄物の種類及び実績、目標の別 排出・処理の		10		11		12	
		金属くず		ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		陶磁器くず	
		実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度
排出量		36.0	36	1.4	1	1.2	1
自己再生利用量		0	0	0	0	0	0
自己熱回収量		0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量		0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量		0	0	0	0	0	0
全処理委託量		36.0	36	1.4	1	1.2	1
	優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
	再生利用業者への処理委託量	36.0	36	1.4	1	1.2	1
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

＜産業廃棄物＞

廃棄物の種類及び実績、目標の別 排出・処理の		13		14		15	
		石膏ボード		鉱さい		安定型混合廃棄物	
		実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度
排出量		0.1	0.1	89.5	90	139.8	140
自己再生利用量		0	0	0	0	0	0
自己熱回収量		0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量		0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量		0	0	0	0	0	0
全処理委託量		0.1	0.1	89.5	90	139.8	140
優良認定処理業者への処理委託量		0.1	0.1	89.5	90	0	0
再生利用業者への処理委託量		0.1	0.1	89.5	90	139.8	140
認定熱回収業者への処理委託量		0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量		0	0	0	0	0	0
廃棄物の種類及び実績、目標の別 排出・処理の		16		17		18	
		管理型混合廃棄物		照明機器		蛍光灯	
		実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度
排出量		1.5	2	0.2	0.2	0.5	1
自己再生利用量		0	0	0	0	0	0
自己熱回収量		0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量		0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量		0	0	0	0	0	0
全処理委託量		1.5	2	0.2	0.2	0.5	1
優良認定処理業者への処理委託量		1.50	2	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量		1.5	2	0.2	0.2	0.5	1
認定熱回収業者への処理委託量		0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量		0	0	0	0	0	0

＜産業廃棄物＞

廃棄物の種類及び実績、目標の別 排出・処理の		19		20		21	
		電池類、照明機器、医薬品等、水銀回収義務付け製品以外の製品		水銀回収義務付け製品(計測器)		パーソナルコンピュータ	
		実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度
排出量		0.01	0.01	0.01	0.01	2.15	2
自己再生利用量		0	0	0	0	0	0
自己熱回収量		0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量		0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量		0	0	0	0	0	0
全処理委託量		0.01	0.01	0.01	0.01	2.15	2
優良認定処理業者への処理委託量		0.01	0.01	0.01	0.01	2.15	2
再生利用業者への処理委託量		0.01	0.01	0.01	0.01	2.15	2
認定熱回収業者への処理委託量		0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量		0	0	0	0	0	0
廃棄物の種類及び実績、目標の別 排出・処理の		22		23		24	
		—		—		—	
		実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度	実績(t) R4年度	目標(t) R5年度
排出量		0	0	0	0	0	0
自己再生利用量		0	0	0	0	0	0
自己熱回収量		0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量		0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量		0	0	0	0	0	0
全処理委託量		0	0	0	0	0	0
優良認定処理業者への処理委託量		0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量		0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量		0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量		0	0	0	0	0	0

＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

	これまでに、実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	水分の除去。	水分の除去。
廃油	有価物として、売却実施	有価物として、継続売却実施
廃酸・廃アルカリ	—	—
廃プラスチック類	有価物として、売却実施	有価物として、継続売却実施
木くず	有価物として、売却実施	有価物として、継続売却実施
繊維くず	有価物として、売却実施	有価物として、継続売却実施
金属くず	有価物として、売却実施	有価物として、継続売却実施
ガラスコンクリート陶磁器くず	—	—
鋳さい	有価物として、売却実施	有価物として、継続売却実施

＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組
廃プラ類	紙ごみを分別して、製紙工場に渡して再生紙化実施	—
	給茶器の紙コップ、緩衝材をRPF製造工場へ排出して、再資源化実施	再利用可能廃プラはリサイクルハブ業者を構築して再利用品の拡大を図る
	CDケース、ガムケースなど、良質なプラスチックを擬木を作る工場に排出して、再資源化実施	—
	水素タンク・CFRP材分別してリサイクル工場へ排出して、再資源化実施	—
廃プラ類・金属くず	有価物として廃鉛バッテリーを再資源化施設に排出し、鉛のバッテリー循環利用実施	リチウムイオンバッテリーの再資源化
金属くず	廃棄基盤を分別回収して、有価物にし、資源の循環利用実施	希少金属を分別して再資源化の取組

＜自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項＞

	これまでに、実施した取組	今後実施する予定の取組
産業廃棄物	—	—

＜自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項＞

	これまでに、実施した取組	今後実施する予定の取組
無機性汚泥	脱水により減量化実施	—

＜自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項＞

	これまでに、実施した取組	今後実施する予定の取組
産業廃棄物	—	—

＜産業廃棄物の処理の委託に関する事項＞

	これまでに、実施した取組	今後実施する予定の取組
産業廃棄物	—	出来るだけ優良認定処理業者に委託する